

所管調査報告

総務文教常任委員会

日にち: 令和6年7月29日(月)

調査先: いきいき情報センター・太宰府小学校・松川運動公園

いきいき情報センターでは、指定管理業者の財団から直接話を聞き、大変有意義でした。空きスペースや全世代交流スペースの活用等をあわせて調査しました。トレーニングルームを利用される皆様のご様子に癒されました。

太宰府小学校では、体育館改修工事の見学をしました。また空き教室不足、観光シーズン時のバス通学の子どもの乗降が困難になる状況への学校の対応など調査しました。

松川運動公園は、体育館の改修工事とともに、スケートボードパーク設営に関して調査しました。現在様々な方向性からどうしていくべきか検討中とのことです。

3施設の共通点は、『老朽化』『市民ニーズ』です。今後も委員会として注視していきます。



太宰府小学校

環境厚生常任委員会

日にち: 令和6年7月19日(金)

調査先: 児童発達支援センターすみれ園・
ふれあいサポートゆうしん・
ニチイケアセンター太宰府 グループホーム ニチイのほほえみ

すみれ園には太宰府市近郊の5市から園児が通園しています。今後入園希望者は増加すると考えられるため、自閉症、多動性などの子どもと専門的に向き合う保育行政が必要だと感じました。

ふれあいサポートゆうしんは笑顔あふれる第二の我が家を理念として地域に根ざした支援が行われていました。

ニチイのほほえみは家庭的な雰囲気大切に認知症の方のサポートをされています。

現地調査後にゆうしん、ニチイのほほえみとの合同の懇談会を行うなかで、介護は誰もが関係することなので、高齢になりその後どのような人生設計とされるかを考えられるよう行政として啓発できれば施設の利用も変わってくるのではと感じました。



すみれ園

建設経済常任委員会

日にち: 令和6年7月24日(水)

調査先: 三条岩渕砂防事業・内山谷川砂防事業
筑紫野古賀線事業・観世音寺二日市線事業

市内が進む県の事業について現地調査を行いました。県職員の方に説明を受けました。

砂防ダムは土石流災害を防止するものです。

三条岩渕ダムは平成27年に事業を開始し令和5年3月に完成し、人家98戸、老人ホーム等を保全します。総工費は1.8億円です。

現在も工事中の内山谷川ダムは人家40戸等を保全対象とし、総工費は約3.9億円、令和11年ごろの完成を見込みます。

只越交差点から松川を結ぶ筑紫野古賀線太宰府市工区は、現地を見ると工事は思いのほか進んでおり供用開始に向け事業が進められています。

筑陽学園横と西鉄二日市駅を結ぶ観世音寺二日市線は、住宅地を通ることもあり景観にも一定の配慮をしつつ事業が進められています。

砂防ダムも道路も市民生活に直結しています。市と市民が日常的に関心を払い続け、関連する市の事業も計画的に進めていくことが重要となります。



三条岩渕砂防ダム